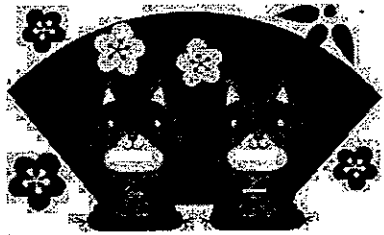


図書館だより 1月号 奈良大学附属高等学校 図書部 発行



あけましておめでとうございます。2018年、新しい年がスタートしました。新しい年の幕開けとともに、新鮮な気持ちで、新年の目標や抱負を掲げましたか。ぜひ今年の目標は、『できるだけたくさん本を読む』としてみてはどうですか。

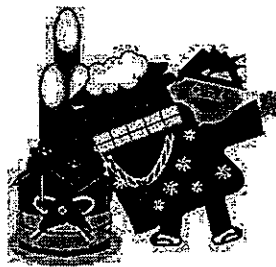
年々、人気の小説やコミックの映像化が増えてきているように思います。みなさんの中にも、そんな映像化作品の原作本が取っ掛かりとなって読書好きになった人もいるかもしれませんね。読書の習慣がない人も、好きな分野から活字の世界に入っていくのも楽しいと思いますよ。

新しい年、新しい自分に出会える大きなチャンス!!

希望図書 リクエスト募集中!!

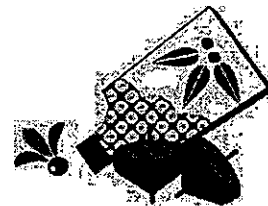
ただいま、第3期の希望図書を受け付けています。以前から読んでみたいと思っていた本、親や先生や友達から薦められて、ちょっと気になっている本、本屋さんで大きく紹介されている新書・・・などなど。今年度、最後のチャンス!

カウンター横にあるリクエストカードに必要事項(学年、クラス、氏名、書名、著者名)を記入して、カウンター係の先生に提出するか、リクエストボックスに入れてください。



図書委員 今月のオススメ

1年D組

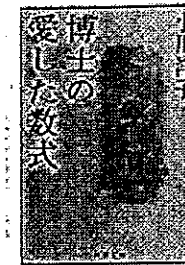


デビルフィニア戦記

著: 茅田 碩胡
中公文庫

この小説は、内丸とリムという2人の人物のことであり、そこから始まります。この2人が何者なのかは読んでいくとわかってくるので、その人々を楽しみつつそれに関わりまわされる回りの人々にも注目してこの物語を読むといいと思います。

1年G組



～本の紹介～

- ・タイトル...「博士の愛した教式」
- ・著者名... 小川 洋子
- ・出版社... 新潮文庫

[あらすい]

80分しか記憶をもたない博士と私(博士の家政婦)の、どこもない日々。だが、やがて私の10歳の息子も記憶を失い、家族は、いつか消えてしまった。あずりに悲しく、暖かい奇跡の愛の物語。

[名言]

博士が私に息子がいて、家も独りで留守番していると、知った時の博士の言葉
「子供を独りぼっちにしておくなんて、いかなる場合にも許さずせん。」
・とても心配を心配する気持ちが伝わってきて、この後、息子を助けるためにどうなるのか気になる。

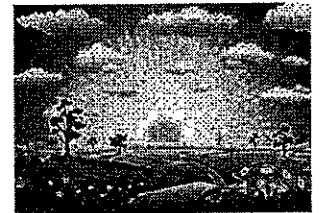
[感想]

この本には「愛と教式」という難しい言葉もあがりやすく説明されていて勉強できたし、他人への心配りの大切さを覚えるのでとても読んで良かったです。

最近、こんな素敵な詩を見つけました。新しい年を迎えて新しい道を歩き始めるみなさんへ・・・

「旅する瞳」 文月 悠光 作

旅人になりませんか? 本棚の陰から聞こえたささやき。それが物語への招待状だった。お好きなときに訪ねてください。途中で引き返しても、かまいません。そのうち物語の方から きみを訪ねてくるようになる。 きみは本を読むのではない。世界そのものを読んでいるのだ。本を選ぶことは 自分の生きる世界を選ぶこと。 夜空を追う月のようにただひとり、 物語を歩く旅人となれ。最後のページを読み終えたときに、 きみはふたたび生まれるだろう。 あらたに言葉を引き継いで 「旅人になりませんか?」 当たり前の日常は、 たしかに色を変えた。 朝焼けに染まった道を きみはいつでも歩き出せる。 旅する瞳と、 一冊の物語さえあれば。



本から顔を上げたそのとき
自分の口で語りはじめる。
朝焼けに染まった道を き



12月の図書館利用状況

1年生	2年生	3年生	合計
24人	14人	114人	152人

冬休み期間も重なり、先月の利用者数は少なかったようですね。センター試験を皮切りに、いよいよ本格的な受験シーズンがスタートです。各大学の一般入試を間近に控え、3年生の来館者が多く見られます。ここからが本番です!! ガンバレッ!! 受験生!!!